

## 看護小規模多機能コープ五日市

## 2025年度第3回 運営推進会議議事録

参加者：観音地区民生委員児童委員 北村由美子様

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター 山田幸恵様

看護小規模多機能コープ五日市 ケアマネジャー 野田勝美

看護小規模多機能コープ五日市 主任 和田直子

## 1. 事業運営の基本方針や理念

利用者1人ひとりの人格を尊重し、利用者の心身の状況、希望、その置かれている環境を踏まえて、通いサービス、訪問サービス（介護、看護）、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ、生協10の基本ケアの（自立支援）の考え方で支援します。また地域への参加や住民との交流を図り、地域での暮らしを支援します。

## 2. 利用状況（2025/7/25現在）

## ・ 介護度

	介1	介2	介3	介4	介5	計	平均介護度	新規	中止	入院
7月	4名	3名	7名	4名	4名	20名	3.3	3件	2件	0名
8月	4名	2名	7名	5名	4名	18名	3.8	0件	1件	1名

## ・ 年齢

60歳～	65歳～	70歳～	75歳～	80歳～	85歳～	90歳～	95歳～	100歳
0名	0名	2名	0名	1名	6名	9名	1名	1名

## ・ 地域

佐伯区 18名

西区 2名

## ・ 生活環境

独居 7名、夫婦二人暮らし 3名、子供と同居 7名

## 3. 新規受け入れ状況

7月の新規依頼3件について説明した。小規模多機能みどりの家、コープ五日市居宅、原田病院からの紹介。

## 4. 事故・苦情の発生状況

介護事故 2件

泊りサービス利用中の転倒事故について、宿泊室の床の畳と板の間の境目に歩行器が引っかかって転倒した。再発防止策として境目が少ない宿泊室を利用していただくことにした。

通いサービス利用中の無断外出事故について、サロンの行事に参加した際、終了し地域の参加者が帰って行く流れに紛れて一人で外出してしまった。昼食時が気が付いて外を探した。近所のマンションの前を歩いているところを発見した。ケガや体調不良なく戻られた。包括支援センターの山田様より、徘徊 SOS の登録を考えてみてはどうかと助言をいただいた。施設にカギをかけない方針であるが可能性のある利用者について徘徊 SOS を検討する。

## 5. 日常のサービス内容

- ・ 通い：5名～11名/1日
  - ・ 訪問：4件～15件/1日
    - 訪問介護（外出準備・片づけ、掃除、洗濯、食事確保、服薬確認、安否確認など）
    - 訪問看護、訪問リハビリ
  - ・ 宿泊：2名～6名/1日（1泊～5泊）
    - \* 退院直後や老健退所後など不安定な方には、1～2週間連泊していただき、体調が安定したら、通いサービスや訪問サービスを組み合わせて在宅復帰につなげています。
- 包括報酬なので介護度などによってサービスの制限があるか質問があり、利用者にとって必要なサービスであれば支援している。事業所の空き状況により相談しながら計画していることを説明した。

## 6. 利用者の健康対策に関する取り組み

生協 10 の基本ケアに基づいた自立支援のケアを行っています。

- ・ レクリエーション（歌、ゲームなど）、個別リハビリ
- ・ 毎日昼食前に、リハビリ職員による口腔体操（20分程度）

## 7. ボランティアの受け入れ状況や行事参加など地域連携への取り組み

- ・ 月1回お話しボランティア受け入れ（いきいきポイント対象）
- ・ サロン活動に参加（うたごえ喫茶、映画鑑賞会、健康マージャンなど）
- ・ 広報活動
- ・ パンプキン通信発行

## 8. その他

認知症があり介護サービスが必要と思われるが拒否があり介入ができなかった事例を紹介した。幼稚園で調理員として働いていた経験がある方だったので、調理を手伝ってもらう名目で毎日訪問し声をかけてあんしんセンターに来て夕食の調理を手伝ってもらった。徐々に習慣になり声をかけなくても毎日ご自分から訪ねてこられるようになった。その後居宅と契約し訪問看護の利用が開始となった。

民生委員北村様より、今関わっている心配な方の相談があった。75歳、男性、認知症はないが意欲がなく食事が食べられない、引きこもり気味でどうしたらいいか困っている。→病院受診（かかりつけ医があればそちらへ受診）するか、包括支援センターに相談もいい。介護保険の認定もできるかもしれない。介護保険のサービスが利用できなくてもあんしんセンターのようなどころもある。